

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、10～19℃台を示し、平年並みからやや低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の50%（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり22トンの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり0.3kgの水揚げ（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日1統当たり5kgの水揚げ（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり7kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ソウダガツオなどが1日1統当たり1.6トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ウスバハギなどが1日1統当たり12kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヤズなどが1日1統当たり120kgの水揚げ。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/19～12/24の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、時化のため各地入港。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、博多、酒田で僅か水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第6-25号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道（対馬南・対馬南東）の観測結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

次回の漁海況週報は、令和7年1月10日（金）の発行になります。